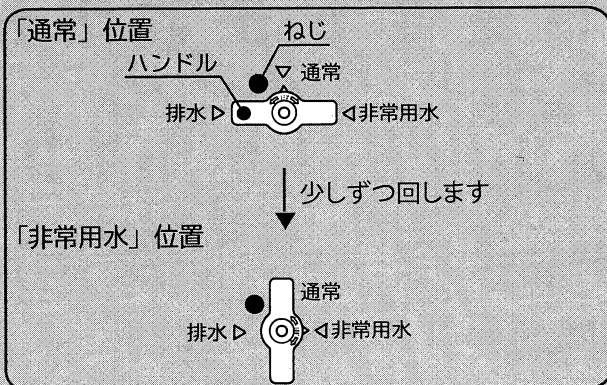


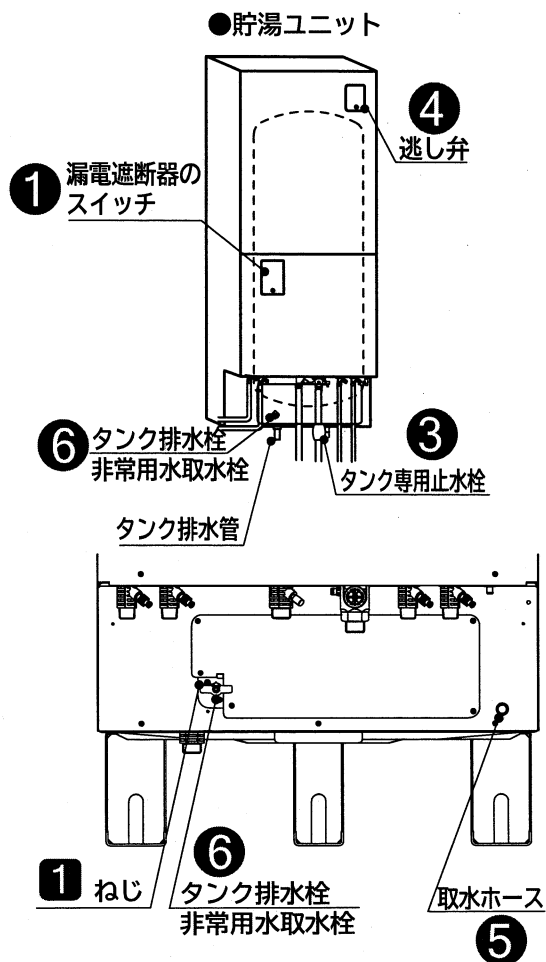
タンクのお湯を非常時使用するとき

- 万一の災害時に、タンクのお湯を非常用生活用水として利用できます。
- 飲用はできません。やむを得ず飲用する場合は、必ず沸騰させてください。

- 1** 漏電遮断器のスイッチを「OFF」にする。
- 2** 脚カバーを外す。
※脚カバーまたは配管カバーを取り付けている場合は、ねじを外し、脚カバーまたは配管カバーを外してください。
- 3** タンク専用止水栓を閉じる。
●タンクへの給水を止めます。タンク専用止水栓が右図の位置にない場合、お買い上げの販売店に位置をお問い合わせください。
- 4** 逃し弁を開く。
●タンクに空気を入れ、取水できるようにします。
- 5** 取水ホースを取り出す。
●取水ホースを貯湯ユニットの外に引き出し、バケツなどで受けてください。
- 6** タンク内のお湯(水)を出す。
 - 1** ねじを取り外します。
 - 2** ハンドルを少しずつ右に回します。
※早く回すと、お湯(水)が勢いよく出ますので、ご注意ください。



- 3** 止めるときは、ハンドルを左に回し、「通常」位置に合わせてください。
- 4** **1** で取り外したねじを取り付けてください。



お願い

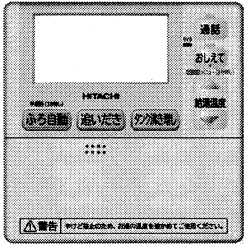
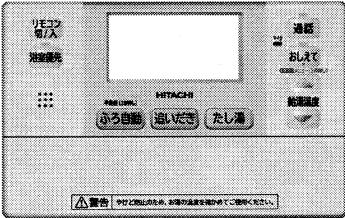
- 取水ホースからは、お湯(水)が出てきますが、使いはじめは、湯アカなどが出ますのでしばらく洗い流してください。取水後は、「タンク排水栓」を「通常」位置に戻してください。
- 災害が復旧し、給湯機としてふたたび使用するときは、「貯湯ユニットに給水するとき」(→P.45)に従って貯湯ユニットに給水してください。

警告

- !** 取水中、熱湯(最高90℃)が出る場合があります。
やけど注意
非常用水使用時は湯温を確かめて熱に強い容器を使用してください。

停電のとき

- 停電中は、「給湯」、「ふろ機能」とも使用できません。
BHP-F46JD、F37JD はタンク内にお湯が残っていても、シャワーや蛇口を開くと水が出てお湯は出ません。
BHP-F46JU、F37JU はタンクにお湯が残っていれば、シャワーや蛇口を開くとお湯が出ます。ただし、リモコンに設定した温度のお湯にはなりません。また、熱いお湯が出る場合がありますのでご注意ください。
- 停電復帰時、時刻がずれたり各リモコンの設定が変わる場合がありますので、各リモコンの設定を確認してください。

リモコン	項目	停電復帰時の設定値
<p>台所リモコン (サブリモコン)</p> 	<p>日付</p> <p>時刻</p>	<p>ずれている場合があります。現在の日付・時刻に合わせてください。</p> <p>→ P.57・58</p>
<p>ふろリモコン</p> 	<p>その他</p>	<p>設定値は記憶されていますが、停電前と変わっていないか確認してください。</p>

お願い

停電復帰時は、必ず「リモコン」の時刻を確認してください。

- 時刻が違っている場合は、電気料金が割高になる場合がありますので、現在時刻を合わせてください。

お知らせ

- 浴そうの湯はり中に停電した場合、停電が復帰しても湯はりは再開しません。湯はりをしたい場合は浴そうのお湯を全部抜いてから「ふろ自動」ボタンを再度押してください。

断水のとき

- 断水のときは「タンク専用止水栓」を閉じてください。
断水中は貯湯ユニット内に給水されないためお湯は出ません。
- 断水時にはすべての混合水栓（蛇口）を水側にして、混合水栓（蛇口）を開けないでください。
- 断水復帰後、混合水栓（蛇口）の水側を開けて、水の汚れがなくなったのを確認してから、「タンク専用止水栓」を開いて使用を再開してください。
- 断水復帰直後は、水圧が低い場合がありますので、ご使用は水圧が高くなるまで待ってください。

ご注意

- タンク専用止水栓を閉じないでそのまま使用すると、次のような原因になります。
 - ・濁った水で貯湯ユニットのストレーナ部が目詰まりし、湯量が減少したり、お湯が濁る。
 - ・貯湯ユニットに空気が入り断水復帰後、設定温度のお湯が出なかったり、湯温が安定しない。